

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 指宿市

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
4,929	6,647	518	12,093

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	20,562	19,148	1,415	527	356	24,595	
一般会計等	20,562	19,148	1,415	527		24,595	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	7,147	6,958	190	190	539	0	0	
老人保健特別会計	731	717	14	14	55	0	0	
介護保険特別会計	3,964	3,885	79	79	624	0	0	
後期高齢者医療特別会計	526	521	4	4	168	0	0	
水道事業会計	745	642	103	366	1	2,750	3	法適用
温泉配給事業	55	53	1	1	8	0	0	
公共下水道事業	1,621	1,591	31	7	354	4,996	3,393	
唐船峡そうめん流し事業	244	235	8	8	12	0	0	
国民宿舎事業	2	2	0	0	2	0	0	
公営企業会計等 計				669		7,746	3,396	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
指宿広域市町村圏組合	540	481	60	52	0	0	0	
指宿地区消防組合	894	884	10	10	0	238	180	
鹿児島県市町村総合事務組合	16,811	16,666	145	145	1	0	0	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	108	102	6	6	0	0	0	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	206,168	201,919	4,249	2,986	-	-	-	
一部事務組合等 計				3,199		238	180	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
指宿市土地開発公社	6	907	6	0	0	0	1,180	118	
指宿温泉まちづくり公社	2	67	50	0	0	0	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			56	0	0	0	1,180	118	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	309	352	43
減債基金	70	1	69
その他充当可能基金	1,221	1,212	9
充当可能基金 計	1,600	1,564	36

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.33	4.35	1.02	13.04	20.00	水道事業会計	-	-	-
連結実質赤字比率	7.77	9.88	2.11	18.04	40.00	温泉配給事業特別会計	-	-	-
実質公債費比率	15.8	15.5	0.3	25.0	35.0	公共下水道事業特別会計	-	-	-
将来負担比率	145.2	130.4	14.8	350.0		唐船峡そうめん流し事業特別会計	-	-	-
財政力指数	0.39	0.41	0.0			国民宿舎事業特別会計	-	-	-
経常収支比率	103.2	98.9	4.3						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(-)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。